



# わかりやすい 住まいの管理教室

2011年8月22日(月)  
第2講座 第3回

## 今回の内容

- 1 シックハウス
- 2 ハウスダスト

住宅室内の空気には、目には見えませんが様々な物が混在しています。

- ・ハウスダストと言われるちりやほこり
- ・微生物の死骸・糞
- ・水蒸気、一酸化炭素、二酸化炭素
- ・建材や家具、防虫剤や殺虫剤などから放散される多様な化学物質

などです。これらの中には、空気中の含有量がわずかであっても人が刺激を感じるものや、健康への影響があると指摘されているものもあります。近年、化学物質に関しては厳しく規制されるようになり、使用が制限されたり、人体に害の少ない薬剤や天然成分などが用いられるようになってきました。

今回は、より良い住まいの空気環境をつくるためにはどうすればよいかを見ていきたいと思います。

## 1 シックハウス

ホルムアルデヒドは使用制限  
クロルピリホスは使用禁止

住宅内に放出された化学物質等の影響で室内の空気が汚染され、その汚染により引き起こされる様々な健康障害の総称をシックハウス(症候群)といいます。症状には、頭痛、吐き気、目の痛み、咳、皮膚炎などがあり、人により様々で、発症の仕組みも未解明な部分が多く、近年大きな社会問題になっています。

人体に悪影響を及ぼす可能性のある化学物質としては、揮発性有機化合物のホルムアルデヒドや有機リン酸系殺虫剤のクロルピリホスなどがあり、建材、あるいは工事の時に使用された接着剤や塗料、防虫剤などから放出され、室内の空気が汚染されます。

「シックハウス症候群」の訴えが急増したために、2003年に建築基準法が改正され、ホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物(VOC)13物質について、使用禁止や使用制限などがかけられました。

### ① ホルムアルデヒドの対策

- ・内装仕上げの制限
- ・換気設備設置の義務付け
- ・天井裏などへの使用制限

### ② クロルピリホスの対策

- ・居室を有する建築物には使用禁止



## ハウスダスト

ハウスダストとは、ダニやカビを代表とする室内に浮遊する微粒子のことで、アレルギー症状や、花粉症、ぜんそく等のアレルギーの原因です。ハウスダストそのものは目に見えないくらいの小さなホコリですから、ほうきやモップでは取り除くことはとても難しいです。そこでハウスダストに関して注意してほしい事が3つあります。

① こまめに部屋を掃除してください。

そのためには掃除をしやすくしておくことが重要で、床をフローリングやクッションフロアにするとか、日常多くの時間を過ごす部屋には家具を少なくしておくことです。また部屋の中の棚や家具の上のホコリは、ハタキなどで撒き散らさずに、掃除機で吸い取るか、雑巾で拭きとるのが良いでしょう。

② 通風と換気をおこなってください。

窓やドア等は普段から気をつけて通気・換気をおこなっていると思いますが、風の通りにくい押入やタンスも出来る限り開けて換気を良くしてあげてください。ただここで注意してほしいのは、花粉が飛散しやすい時期には、かえって花粉を室内に入れてしまう恐れがあるということです。

③ 室内のダニの温床を排除してください。

カーペットは、ホコリがたまりやすいので出来る限り使用しないでください。特に畳の上には敷物(じゅうたん、カーペット等)は使用しないようにしてください。畳の通気性を悪くしますし、ダニの格好の住かになってしまいますので。やむをえない場合は、こまめに掃除機を使って吸い取ってください。またぬいぐるみなどもダニが付きやすいですし、カーテンやふとんはダニの温床になりやすいので、ほこりなどをこまめに掃除機で吸い取ってください。

《 ダニの繁殖する条件 》

- ・温度25～30℃
- ・湿度60～85%
- ・餌となるホコリ、フケ、皮脂などがあること
- ・潜り込む場所があること

こまめに部屋の掃除と換気を行ってください。



マンション管理士事務所 JU

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘 1-6-39

電話番号:072-915-3765

FAX 番号:072-915-3765

電子メール:dpkgq804@kawachi.zaq.ne.jp

ホームページ:http://www.mankan-ju.com/